

※新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、事業実施については状況に応じて検討していきます。

- 1、開会
- 2、物故者への黙禱
- 3、会長あいさつ
- 4、理事長あいさつ
- 5、議長選出
- 6、議事録署名選出
- 7、議事
- 8、議長解任
- 9、閉会

次 第

本年度定期総会がイヤタカにて開催され、39名が出席しました。
議長には深井春祥さん、議事録署名には大山美泉さんが選出されました。

令和4年度定期総会

●日時 令和4年4月29日(金・祝)
10時30分～12時

●会場 イヤタカ(秋田市)



議長に選出された深井春祥さん



長沼理事長よりあいさつ



佐川会長よりあいさつ



受付後、集計等をする左から竹村和佳さん・前田祥穂さん・碩伸子さん



資料に目を通す出席者の皆様



会計監査の報告をする小松清峯さん

令和4年度 事業計画

	総務部	研修部	展覧会部	広報部	広告部	I T 部
4月	正副部長会議 4月17日(日)10時～ 監査会 4月20日(水)15:00～ 理事・常任理事会 4月24日(日)10:00～ 総会 4月29日(金・祝)10:30～				会報発行・県書道連盟展に向けた広告依頼活動(総務部)	連盟ホームページの管理運営(連盟の紹介、組織図、行事カレンダーの作成、各種行事の参加者募集、会報のインターネット公開、等々)
5月	県芸文協決算総会 5月27日(金)					
6月						
7月						
8月	筆供養・懇親会 8月21日(日) 神事：15時半より(日吉八幡神社) 懇親会：16時より(パークホテル)		県書道連盟展(アトリオン) 8月19日(金)～22日(月)			
9月				会報発行(127号)		
10月		実技研修会(zoomを利用したオンライン研修会) 10月9日(日)14時～			書初め大会と新春小品書展に向けた広告依頼活動(広告部)	
11月						
12月	書初め準備会議(県立武道館) 12月4日(日)13:30～		県芸文協会議(フォンテ秋田) 12月 日(金)			
1月	新春書初め席書大会(県立武道館) 1月8日(日) 書初め展覧会(さきかけホール) 1月26日(木)～29日(日) 授与式1月29日(日)	新年研修会(zoomを利用したオンライン研修会) 1月22日(日)14時～	新春小品書展(さきかけホール) 1月26日(木)～29日(日) 書初め展覧会(さきかけホール) 1月26日(木)～29日(日)			
2月						
3月	県芸文協予算総会 3月 日		秀作美術展(県芸文協主催) 3月9日(木)～12日(日)	会報発行(128号)		

令和4年度 収支予算

自 令和4年4月1日
至 令和5年3月31日

収入総額 1,945,000円
支出総額 1,945,000円
差引残額 0円

収入の部

(単位：円)

費 目	前年度予算額	本年度予算額	比較増減	備 考
前年度繰越金	227,838	326,819	98,981	
会費	690,000	660,000	△ 30,000	本年度分 @3,000円*220名
寄付金	120,000	118,000	△ 2,000	常任理事・理事 @2,000円*59名
事業収入	840,000	840,000	0	広告料、連盟展出品料 各事業収入
雑収入	1,162	181	△ 981	利息等
合 計	1,879,000	1,945,000	66,000	

支出の部

(単位：円)

費 目	前年度予算額	本年度予算額	比較増減	備 考
事務費	290,000	300,000	10,000	
消耗品費	31,000	31,000	0	文具品、出納簿、コピー、諸費
通信費	124,000	124,000	0	郵送料、切手、案内ハガキ
会議費	80,000	80,000	0	役員会議会場費等
交通費	50,000	50,000	0	役員会議旅費
諸費	5,000	15,000	10,000	振り込み手数料等
事業費	1,491,000	1,531,000	40,000	
総務部費	40,000	40,000	0	事務打合せ会場費等
研修部費	150,000	150,000	0	研修会、新年研修会、講師謝礼等
展覧会部費	253,000	253,000	0	県書道連盟展等
広報部費	50,000	50,000	0	会報発行諸費
広告部費	55,000	65,000	10,000	活動諸費
IT部費	98,000	98,000	0	ホームページ維持管理費、取材費等
連盟展事業費	230,000	230,000	0	連盟展会場費、目録、ハガキ
書初め大会費	47,000	77,000	30,000	書初め席書大会補助金
印刷出版費	467,000	467,000	0	会報、諸会合資料
筆塚供養費	51,000	51,000	0	供養謝儀、参加者(子供)記念品代
活性化委員会費	50,000	50,000	0	通信費、会場費等
負担金	30,000	30,000	0	県芸文協へ 30,000円
表彰費	5,000	5,000	0	
慶弔費	20,000	20,000	0	
雑費	3,000	3,000	0	
予備費	40,000	56,000	16,000	
合 計	1,879,000	1,945,000	66,000	

令和4年度第14回秋田県新春書初め席書大会 予算

席書大会 令和5年1月8日(日)
展覧会日 令和5年1月26日(木)～1月29日(日)

収入総額 1,020,000円
支出総額 1,020,000円
差引残額 0円

収入の部

(単位：円)

費 目	前年度予算額	今年度予算額	増 減	備 考
広告協賛金	630,000	600,000	△ 30,000	協賛社40件 1件15,000円
参加費	320,000	320,000	0	大学以下 計 480人 一般80人 480人×500円= 240,000円 80人×1,000円= 80,000円
薄茶席売上	22,000	22,000	0	200円×110枚
雑収入	1,000	1,000	0	
連盟補助金	47,000	77,000	30,000	
合 計	1,020,000	1,020,000	0	

支出の部

(単位：円)

費 目	前年度予算額	今年度予算額	増 減	備 考
魁広告掲載費	385,000	385,000	0	魁新聞紙上掲載
オープニング行事委託費	40,000	40,000	0	
お雑煮等委託費	200,000	200,000	0	1,000食分の材料費、その他経費
薄茶席委託費	50,000	50,000	0	茶席委託
華道連盟委託費	40,000	40,000	0	生け花展示委託
書道パフォーマンス委託費	60,000	60,000	0	用紙代、及びその他経費
司会委託費	10,000	10,000	0	
通信費	50,000	50,000	0	関係先への文書郵送料
消耗品費	80,000	80,000	0	用紙、文具等
印刷製本費	15,000	15,000	0	インク代等
雑費	2,000	2,000	0	振り込み手数料等
表彰費	20,000	20,000	0	表彰景品代
筆耕費	40,000	40,000	0	賞状筆耕料
人件費	28,000	28,000	0	作品展示補助作業
合 計	1,020,000	1,020,000	0	

第61回 秋田県書道連盟展 特集

秋田県書道連盟展

8月19日(金)～22日(月)

初日 午後1時～午後5時

期間中 午前10時～午後5時

最終日 午前10時～午後3時

アトリオン2F美術展示ホール

初日の午前9時から搬入、展示作業が行われ、連盟会員100点の作品が展示されました。



展示作業を見守る藤原豊道さん



着々と展示作業が進んでいます

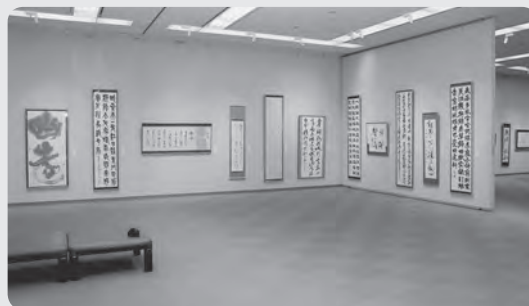


開展に向けて準備をする、左から鎌田江葉さん、保坂省峰さん、道川屋悟さん

【受付当番】

- 19日午後 鎌田江葉・保坂省峰
- 20日午前 石井竹華・齊藤孝快・藤原瑛翠
- 午後 伊藤雅人・藤原瑛翠・保坂省峰
- 21日午前 保坂省峰・山口美代子
- 午後 角田萩瑛・鎌田江葉・山口美代子
- 22日午前 伊藤恵雪・伊藤雅人・富樫春郷
- 午後 伊藤雅人・富樫春郷・道川屋悟

展覧会風景



互 評 会

21日(日)午後1時〜3時、今後の創作活動の指針となるよう、「互評会」が行われました



黒木天籟さん



互評会にたくさんの会員が集まっています



小松清峯さん



佐々木青爛さん



横山由希さん



大山美泉さん



千田寿山さん



山口美代子さん

震災復興応援 メッセージ コーナー

東日本大震災以降、秋田での国民文化祭(第29回国民文化祭・あきた2014)が平成26年に開催されました。時間の経過とともに風化しがちな被災地への思いを、書のもつメッセージ性を生かし、復興応援したいという趣旨ではじまりました。以降、秋田県書道連盟展では毎年通常展に加えて継続してきました。

連盟会員から9点、高校生から240点、計249点が展示されました。

●「被災された皆様へ」

今回のメッセージ展では、復興をいつまでも応援しているということ、被災された皆様に届けようという想いで、一人一人が作品と向き合い、心を込めて書きました。作品を見てくださった方々の心を、少しでも明るくできたのなら幸いです。(御所野学院高校 書道部部长3年 小野菜さん)

●「二兎を追って三兎をも得る」

いつも「臨書のための臨書になっ
ていないか」と自戒している。いろ
いろな考え方があがるが、「臨書は創
作の手がかり」であり「創作は臨書
の積み重ね」だ。

大曲高校では唐の四大家の楷書を
臨書した後に、この復興支援の作品
を書いている。自分でそれにふさわ
しい二字熟語を選び、臨書で得た文
字の特徴を活かして表現する。この
做書により、「臨書の意義」と「臨
書を創作に活かす」、さらに「創作
の喜び」を得ることができる。
(大曲高校 指導者 竹村天祐さん)

●「未来へ」

震災当時、私は五歳でした。幼稚
園の帰り道、母と二人で歩いていた
のですが、その時の恐怖は今でも鮮
明に覚えています。しかし、震災は
遠い過去のことではありません。今

も、復興に向

けて歩まれて
いる被災地の
方々のことを
思うと、胸が
締めつけられ
ます。作品を
通して、皆様
のことを応援
する気持ちを
お届けできる



壁一面に展示

ことを願ひ、「絆」という文字を書
きました。これからも、私たち一人
ひとりに何ができるかを考え続け、
被災地への思いを風化させることな
く、未来へと繋げていきたいと思ひ
ます。(聖霊女子短期大学付属高等
学校 書道部部长2年 宮崎ほのか
さん)

●「若い世代へ繋ぐ」

「3. 11、書文化へ
の影響を知り、考え
よう」という授業を、
あの日から毎年行っ
ています。雄勝硯の
壊滅的な被害から、
現在は若い世代が伝
統と継承しようと奮
闘している姿を知る
ことは大切だと思う
からです。

唐の四大家、牛橛



高校生の作品



連盟会員の作品

造像記、鄭義下碑の臨書を終えた後
に、「古典を生かした創作」にチャ
レンジしています。雄勝硯を鑑賞し、
伝統工芸品の素晴らしさを体感して
から、心を込めて132名が出品し
ました。
この経験が、将来何らかの形で復
興に繋がっていくきっかけになれば
幸いです。(秋田商業高校 指導者
長沢薫さん)

筆供養神事 ～使い終えた愛用の筆に感謝して～

8月21日（日）、午後3時30分から日吉八幡神社にて開催されました。

2001年に連盟が建立した筆塚に、玉串を捧げた後、筆を納めました。文房四宝の一つ、筆に感謝し、書の上達を願うことを目的に毎年行っております。

式次第

開式のことば
修祓
祝詞奏上
玉串奉奠
筆を筆塚へ
挨拶
閉式の言葉



筆塚



長沼理事長あいさつ



田中俐壮くん



泉菜月ちゃん



参加賞のお土産を手に笑顔のこどもたち



お世話になった筆を筆塚へ
左から齊藤孝快さん、山谷喜元さん

参加者

相原蕙花先生教室

- 高橋 青葉 川尻小学校 2年
- 石黒 衣彩 川尻小学校 4年
- 石黒 星衣 南高校中等部 3年

小坂白悠先生教室（白悠書院）

- こさかゆづき 第二ルンビニ園 年長
- 田中 俐壮 川尻小学校 6年
- 高橋 優斗 川尻小学校 6年
- 鎌田 夏帆 秋田県立秋田工業高等学校 1年

前田祥穂先生教室

- 川原 百華 太陽幼稚園 年長
- 泉 菜月 牛島小学校 4年
- 加藤 優奈 牛島小学校 4年
- 川原 千鶴 牛島小学校 4年
- 吉田 葵 牛島小学校 4年
- 佐藤 優雨 四ツ小屋小学校 4年

長沼理事長は、「筆を見ると、みんな一生懸命に練習をしていることがよく分かります。これからも頑張つて下さい。」と、参加したこども達にエールを送っていました。

宮司齊藤至郎さんから、宮司番場千里さんに交代されました。

参加しての感想

8月21日、日吉八幡神社の筆供養に行きました。私は代表で玉ぐしをささげることになりました。玉ぐしをおくとき、「みんなの筆、私の筆。」

今までありがとう。」と感じやしながらおきました。大切に筆を使って、また来年も筆供養に行きたいです。（前田祥穂さんお教室 牛島小学校4年 泉 菜月ちゃん）

●わたしが「ふでくよう」にさんかしたのは今回で2回目です。1回目はお姉ちゃんについて行きました。そのときは何をしているのかわからないまま行きました。

今年はお世話になった筆にかんしゃしてくような式だということがわかりました。しゅう字が上手になるようにのりしておじぎをしました。またらい年も同じ気持ちで参加したいです。（相原蕙花さんお教室 川尻小学校2年 高橋青葉ちゃん）

●僕は、大切に使い終わった筆に感謝の気持ちをもって参加しました。玉串を捧げる時と、筆を筆塚に納める時、感謝と共にみんなの書道の上達を願い、手を合わせました。これからも、筆をはじめ道具に感謝をする気持ちを忘れず、日々努力を重ねていきたいと思えます。（小坂白悠さんお教室 川尻小学校6年 田中俐壮くん）

※予定していましたが祝賀会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止になりました。



第64回 秋田県美術展覧会(県展)

▼写真は、秋田魁新報社提供

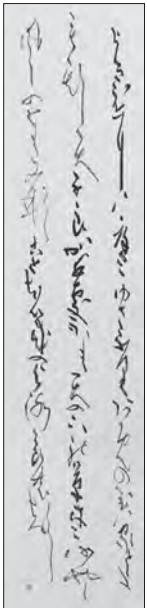
6月24日(金)～29日(水)

秋田魁新報社さきがけホール

県展は、日本画、洋画、彫刻、工芸、書道、デザインの7部門があり、各分野で活躍する作家7人が審査をしました。書道は西村東軒さんが担当され、「書体がバライテイーに富んでおり、練度の高い作品が多く、楽しんで審査をした」と講評。

◆特賞 (秋田県知事賞)

浅野 玉韻 (秋田市) 「伊藤佐千夫の歌二首」



「初心」



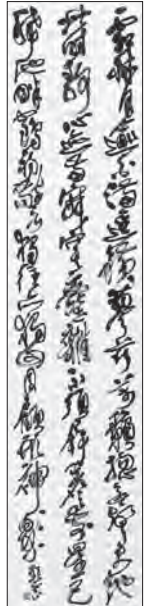
この度の県展では、栄えある「特賞、県知事賞」を受賞し、心より有り難く存じます。昨年の秋田書道展、魁星賞に続いての受賞、感謝の気持ちでいっぱいでございます。

今回は、二双紙二尺八尺に短歌二首の縦形式です。歌の内容を想像しながら丁寧に書くよう努めました。筆の開閉には時間を要し漸く出来た一枚でした。

この受賞を期に「初心」の気持ちでスタートしたい、そんな心境でございます。

◆特賞 (秋田市長賞)

山口 顕正 (仙北市) 「許璣詩」



「感謝」



コロナ禍のため県外展を見る事が難しい中、県展開催により勉強の機会を与えていただきまして、ありがとうございます。

この度、特賞を受賞でき、大変光栄に思っております。審査講評にありましたことは自信になりましたが、まだまだ稚拙な作品です。今後皆さんの作品に刺激を受けながら精進したいと思えます。

県展実行委員の先生方や審査に当たられた西村東軒先生、県展に携わった方々に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

◆奨励賞

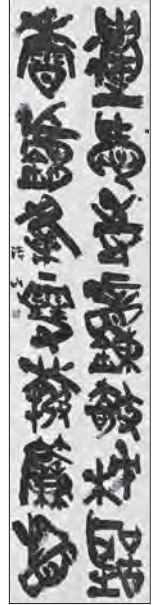
佐藤 珠苑 (北秋田市) 「春雨呈袁起巖」



「奨励賞を頂いて」

二年連続の入賞、信じられないと思います。今年書き込みの期間も短く、加藤華翠先生のご指導のもと、なんとか仕上げる事ができました。評価して頂いたことを喜び、今後も精進せねばと身の引き締まる思いです。

一ノ関清山 (秋田市) 「白居易」



「奨励賞を受賞して」

2年連続の奨励賞は思いもよらぬ受賞で、本当に心から感激しています。果てのないこの道で挑戦と継続することを忘れず、色々とご指導頂いた恩師等に感謝しつつ、一層の精進を重ねて参りたいと思います

岡本真貴子 (由利本荘市) 「春の息吹」



「感謝」

県展奨励賞、心より御礼申し上げます。新聞に作品が掲載されると、多くの方々からお祝いの連絡をいただき、驚いております。今後も詩文書に親しんでいただけるよう、自己研鑽を重ねて参りますので、よろしくお願いたします。

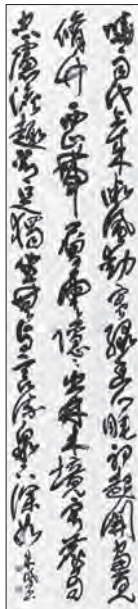
佐藤 聖賢 (秋田市) 「呂子羽詩」



「試行錯誤」

この度、県展奨励賞を戴き光栄にぞんじます。まだまだ試行錯誤の状態ですが、これからも精進していきたいと思えます。どうもありがとうございました。

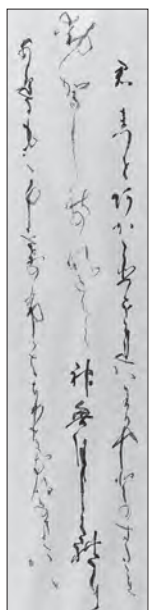
奥山 朱鳳 (大仙市) 「高明詩」



「書の醍醐味」

選詩は、作品制作上重要なことの一つである。高明詩は直近でも数名の先生が書き、価値ある賞を獲得されている。私は出品後に知ったのだが、書き手によって書風も異なり味わいも変化する。そこが書の醍醐味というものであろう。

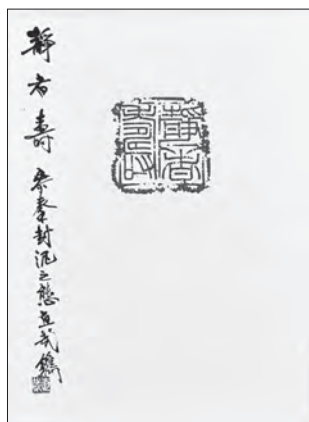
前田 祥穂 (秋田市) 「万葉集より」



「地道に」

仮名書の美しさに魅せられて筆を持ち書き続けてきたけれど、いつも四苦八苦の連続です。そんな中での入賞に驚きと喜びもひとしお、これを励みに継続は力と身を引き締め、地道に努力して参りたいと思っております。

佐藤 直哉 (にかほ市) 「静者壽」

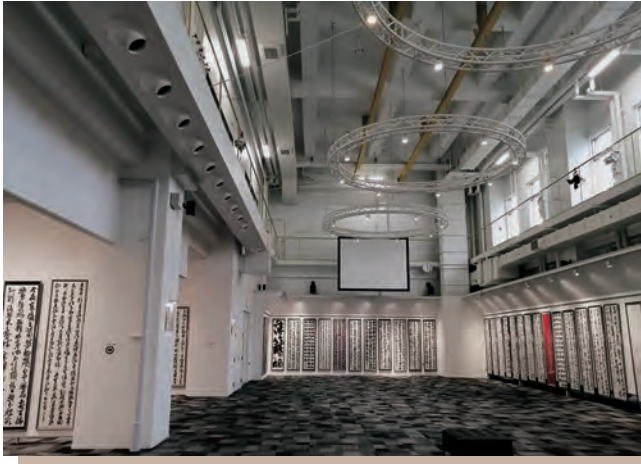


「静者壽」

秦封泥の様式を参考にし、均整の取れた秦篆の字形と、封泥の古雅なる風趣とを融合させ得るように留意した。界線・筆画ともに極力直線を排し、微妙な湾曲を与えることで全体にハリを得たことも評価されたものと思う。

◆ 入 選

嶋野 青城(秋田市)
 道川屋 悟(秋田市)
 大黒 禾苑(秋田市)
 松橋 聖泉(秋田市)
 惠比原 琇琴(秋田市)
 宇佐美 桂月(秋田市)
 小松 璐秋(秋田市)
 小坂 白悠(秋田市)
 角田 萩瑛(秋田市)
 古田 柯香(秋田市)
 石川 抱鶴(秋田市)
 田村 芳汀(秋田市)
 鎌田 江葉(秋田市)
 横山 由希(男鹿市)
 菊地 桂愁(八峰町)
 横山 由希(男鹿市)
 成田 昌子(男鹿市)
 竹村 和佳(男鹿市)
 伊藤 晃蘭(五城目町)
 小玉 豊光(五城目町)
 深井 春祥(潟上市)
 佐藤 穎(潟上市)
 菅原 紫雲(潟上市)
 佐藤 晃山(井川町)
 千田 寿山(井川町)
 遠藤 芙美子(由利本荘市)
 伊藤 勁草(由利本荘市)
 軽部 桃香(由利本荘市)
 菊地 謙二(由利本荘市)



伊藤 貴道(天竺市)
 竹村 天祐(天竺市)
 小松 清峯(天竺市)
 齊藤 暁苑(天竺市)
 佐藤 紀公子(美郷町)
 佐藤 有希(仙北市)
 八柳 竹耀(仙北市)
 鈴木 昭子(横手市)
 佐々木 采嘉(横手市)
 佐藤 哉子(横手市)
 眞田 錦水(横手市)
 佐藤 瑩葩(横手市)
 木村 光楊(湯沢市)
 高橋 陽雲(湯沢市)



第37回 読売書法展

東北展は10月27日(水)～31日(日)
山形美術館・山形県芸文美術館

秀逸

一ノ関清山 (秋田市) 漢字部門
 佐藤 穎 (秋田市) 漢字部門
 深井 春祥 (潟上市) 漢字部門
 佐藤 珠苑 (北秋田市) 漢字部門
 松塚 汪泉 (秋田市) 調和体部門
 奥山 朱鳳 (大仙市) 調和体部門

会友出品

長沢 薫 (秋田市) 漢字部門
 古田 柯香 (秋田市) 漢字部門
 加賀谷里秋 (能代市) 調和体部門

入選

佐々木汪心 (秋田市) 漢字部門
 佐々木嶂芳 (秋田市) 漢字部門
 田村 芳汀 (秋田市) 漢字部門
 野村 玉泉 (秋田市) 漢字部門
 眞田 錦水 (横手市) 漢字部門
 巽 紫龍 (大館市) 漢字部門
 吉田 倅舟 (潟上市) 漢字部門
 浅野 玉韻 (秋田市) かな部門
 伊藤 京子 (秋田市) かな部門
 鈴木 涛春 (男鹿市) 調和体部門

第73回 毎日書道展

東北山形展 10月19日(水)～23日(日)
山形美術館

会員賞

会津千寿子 (由利本荘市) 近代詩

毎日賞

菊地 謙二 (由利本荘市) 近代詩

秀作賞

遠藤 佳苗 (由利本荘市) 大字

佳作賞

遠藤芙美子 (由利本荘市) 近代詩
 酒井 佇泉 (仙北市) 近代詩
 柿崎 真翠 (秋田市) 大字
 菅原 松香 (秋田市) 漢字I

会友 (無鑑査)

秋山由美子 (由利本荘市) 近代詩
 遠藤 佳苗 (由利本荘市) 近代詩
 大洲 麻弥 (秋田市) 近代詩
 小田島和翠 (横手市) 大字
 柿崎 真翠 (秋田市) 近代詩
 工藤 歩美 (横手市) 大字
 熊谷 貞子 (由利本荘市) 近代詩

会友公募・公募

遠藤芙美子 (由利本荘市) 大字
 大黒 禾苑 (秋田市) 漢字I
 柿沼希和子 (横手市) 大字
 菊地 謙二 (由利本荘市) 大字
 工藤 歩美 (横手市) 大字II
 熊谷 貞子 (由利本荘市) 大字
 栗林 千春 (横手市) 大字
 酒井 佇泉 (仙北市) 大字
 佐藤 晃山 (井川町) 漢字II
 柴田布沙子 (横手市) 漢字II
 竹内 美穂 (にかほ市) 大字
 竹村 和佳 (男鹿市) 漢字I
 寺田 敦子 (横手市) 漢字II
 保坂 省峰 (秋田市) 漢字I
 堀井 直子 (由利本荘市) 大字

小島弥恵子 (由利本荘市) 近代詩
 佐々木幸子 (由利本荘市) 近代詩
 佐藤 晃山 (井川町) 漢字I
 佐藤 敏子 (由利本荘市) 近代詩
 竹内 美穂 (にかほ市) 近代詩
 千田 寿山 (井川町) 漢字I
 寺田 敦子 (横手市) 漢字I
 成田 曉翠 (秋田市) 近代詩
 藤田 勢子 (横手市) 漢字I
 藤原 鶴泉 (秋田市) 近代詩
 堀井 直子 (由利本荘市) 近代詩

主な展覧会(連盟会員所属団体)



第47回 秋田県秀作美術展

令和3年3月10日～13日
秋田県立美術館 県民ギャラリー

いつも年度末に開催しているため、3月末の会報に間に合わず掲載してありませんでした。秋田県の様々な分野の作品が一堂に展示されます。連盟会員の方もたくさん出品しておりますので、この場で掲載いたします。

出品者

- | | |
|-------|--------|
| 会津千寿子 | 佐藤 綾子 |
| 阿部 公美 | 佐藤紀公子 |
| 阿部 清楓 | 佐藤 晃山 |
| 石井 竹華 | 嶋田 青城 |
| 伊藤 恵雪 | 東海林汎山 |
| 伊藤 清子 | 高橋 暘雲 |
| 伊藤 雅人 | 竹村 天祐 |
| 植田 清寛 | 竹村 和佳 |
| 大黒 禾苑 | 千田 寿山 |
| 大山 木蘭 | 千葉 瑤真 |
| 岡本真貴子 | 富樫 春郷 |
| 加藤 華翠 | 長沢 薫 |
| 鎌田 江葉 | 藤原 佳幸 |
| 黒木 天簫 | 藤原 瑛翠 |
| 後藤 武之 | 道川屋 豊道 |
| 小松 清峯 | 山田 悟 |
| 小松 璐秋 | 山谷 櫻庵 |
| 佐々木青爛 | 横山 喜元 |
| | 由希 |





これまでに開催された

第35回秋田一東書道会展
(R4.5.13 ~ 15アトリオン)



第9回書遊会
(R4 3.11 ~ 14五城館)



第37回書壇院秋田連盟展
(R4.7.1 ~ 4 アトリオン)



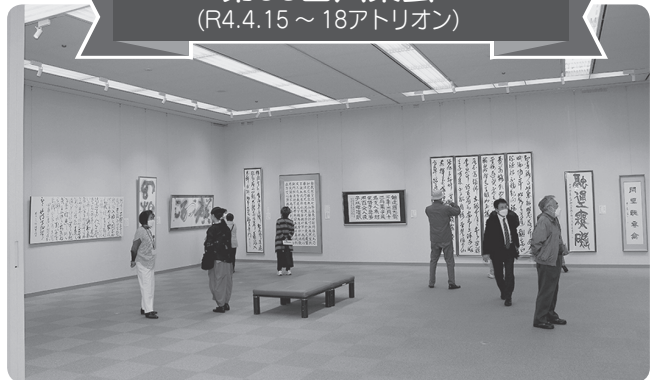
第29回瀾の会小品展
(R4.4.8 ~ 10アトリオン)



第13回秋田草心会書展
(R4.7.9 ~ 11 アトリオン)



第53回六葉会
(R4.4.15 ~ 18アトリオン)



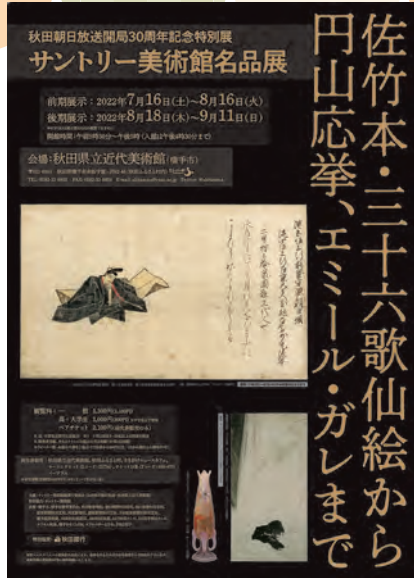
創立60周年記念 第60回秋田市書道会展
(R4.4.22 ~ 25アトリオン)



特別企画「未来へ向けて」

ぶらり書道探訪

サントリー美術館名品展と 《佐竹本・三十六歌仙絵》



サントリー美術館名品展のポスター

秋田藩主・佐竹家が所蔵していた作品であることから是非にとお願いしていたところ、展覧会の約1年前になり借用の許可をいただくことができた。秋田県内において《佐竹本》が展示されたのは、おそらく2004年に日光美術館所蔵の《柿本人麻呂》と《僧正遍昭》が秋田市立千秋美術館で展示されて以来のことだろう。

鎌倉時代に制作された《佐竹本・三十六歌仙絵》は、数ある《三十六歌仙絵》の中でも特に優れたものとして名高い逸品である。書については、後京極良経（1169～

この夏、7月16日（土）から9月11日（日）にかけて、特別展「サントリー美術館名品展」が秋田県立近代美術館で開催された。東京・六本木にあるサントリー美術館が所蔵する日本の古美術を中心に、エミール・ガレのガラス作品なども加え、全51件の名品を展示した。展覧会の計画は、3年ほど前から徐々に進められ、サントリー美術館と交渉を重ねていく中で、展覧会の構成や出品作品が次第にまとまっていった。本展の目玉の一つであった《佐竹本・三十六歌仙絵 源順》については、当初出品が難しいとのことだったが、かつて



【重要文化財】
《佐竹本・三十六歌仙絵 源順》 伝 藤原信実 画 伝 後京極良経 書
紙本着色 1幅 鎌倉時代 13世紀 サントリー美術館蔵



「担当学芸員によるギャラリートークの様子」

藤原信実（1176～1266）によるものと伝承されてきた。歌仙の細やかな表情や花草を捉えたところが秀逸である。

書と画、それぞれに優れたものがあるが、両者が一体となることで広がる秀歌の世界を味わうところにこそ、《佐竹本》の真価があると言えるだろう。展覧会では、センセーショナルな分断と流転の歴史ばかりではなく、そのような魅力に目を向けてもらえるように努めたつもりだが、十分にご鑑賞いただけたらうか。

《佐竹本》のような名品ばかりとはいかないが、近代美術館でも様々な展示で「書」に出会うことができる。ぜひ、お越しいただきたい。

（秋田県立近代美術館 主任（兼）学芸主事

秋田達也）

「世相あれこれ」

広告部部长 上野 泰夫



先ずもって、書初め席書大会と小品書展の広告掲載にあたり、協賛・協力をいただいております秋田魁新報社、長沼理事長はじめ連盟役員の方々、各広告主の皆様にお礼申し上げます。書初めが7社追加して41社、小品書展は28社追加して83社、合計で124社の広告をとりました。金額は102万7340円となり、初めて100万円を超え、累計では1000万円を超えました。

- 様々な職種の社長から広告をいただきます。小品展については一部郵送分を除き、1社につき2回、合計140回程、会社を訪問しました。その時に雑談、世間話を交わします。
- ◆ 人に会っても挨拶をしない人、できない人（周りにいますね。）
 - ◆ 祝賀会の案内や年賀状を出しても返事をくれない人（いるよ。）
 - ◆ 上司や目上の人に対して「ご苦労さま」と言う人（おかしくないですか。）
 - ◆ アナウンサーでないのに「フリーアナウンサー」と名乗っている人がいます。（迷惑です。やめて下さい。肩書きは正しく使しましょう。）
 - ◆ 「社長はいらっしゃいますか。」「只今出かけていていらっしやいません。（ハア？）」「何時頃お帰りになりますか。」「4時頃には帰ってきていらっしやると思います。」（再びハアですね。ビジネス

◆ マナー講師は何を教えているんでしょうか。）
 ◆ スポーツ選手、芸能人、アナウンサーに対するネット上の誹謗中傷が酷いですね。（私も書かれたことがあります。最低ですね。）

ところで。コロナ禍、司会や講演回数激減。知人も同じことを言っていました。市役所、商工会、社福協、市町村長、学校長、銀行支店長、議員の皆さん、研修会講師や講演の話はどうなりましたか。約束は守りましょうね。

最後に、書道に関するこんな川柳がありました。「読めなくて知ったかぶりのおべたふり」コロナ禍厳しいものがありますが、次回に向けて6月から広告どりに入っております。今後共、宜しくお願い致します。



一般書道総合誌 書友

教育書道 69年の歴史をもつ秋田県随一の月刊書道誌
 書写指導に好評を得ております。

書友社

〒010-0954 秋田市山王沼田町11-11
 TEL 862-3484 FAX 862-3485

那 墨痕あざやか 波

あなたの筆勢を伝える筆。
 「書」の心をうつす墨、紙。

那波紙店

〒010-0921
 秋田市大町四丁目3-35
 ☎ 018-823-4311 代

総合書道用品販売

- ◎ 展覧会・企画・展示
- ◎ 〈表具〉〈額装〉〈軸装〉
- ◎ 各種展覧会搬入搬出承ります
- ◎ 文房四宝・低価格にて提供しております

株式会社 クラヤ

〒010-0952 秋田市山王新町4-5
 TEL 018-863-6001 FAX 018-863-6004
 ホームページアドレス <http://www.1ocn.ne.jp/~kuraya>
 メールアドレス kuraya@seagreen.ocn.ne.jp

秋田県書道連盟創立60周年記念作品集



購入希望の方は事務局までご連絡下さい。1冊2000円(税込)です。宜しくお願いいたします。

「秋田県・甘肅省友好提携四十周年記念書道展」の中止について

今年度総会でご案内していましたが、表記の展覧会が中止になりました。県の国際課課長が、拙宅においでになり、説明するところによると、

1. コロナ禍が甘肅省でも始まって関連部署の方々の都合がつかない。
2. 9月から始まる中国共産党大会のため郵便、物流が滞る。このようなことでした。県、省としてもぎりぎりまで開催の可能性をさぐっていたようですが、心配されていたことが、現実になりました。我々も次の機会を期したいと思えます。この会報の校正段階で急遽決定したことをご報告します。

長沼 雅彦

会 員 募 集

日頃から本会の運営につきましては、格別のご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。本会は、より多くの書道を愛好する皆様に活躍と研修の場、作品発表の場、会員相互の情報交換の場などとしていただくため活動しております。

会員は随時募集しておりますので、事務局までお問い合わせ下さい。ホームページもごらん下さい。

事務局 秋田市泉菅野一丁目18-1 三浦 湯舟

ホームページ <http://www2.tbb.t-com.ne.jp/aki-shodorenmei/>

編集後記

秋田県立近代美術館で特別展「サントリー美術館名品展」が開催されました。東京六本木にある60年を越える歴史のある美術館です。県書道連盟は創立61年を迎えましたので同じくらいの年齢ですね。

今年の夏は、各種イベントが開催され、行動範囲が広がりつつありますが、県外へ行くことに多少なりとも抵抗を感じることもあるかと思えます。

こんなにも素晴らしい名品を県内で見ることができなんて、大変有難いことです。本阿弥光悦と俵屋宗達の「鹿下絵新古今集和歌巻断簡」。至福の時を過ごすことができました。

これからも更に芸術文化が光り輝くことを祈っております。(広報部一同)

今後開催予定の主な展覧会

第40回秋田墨滴窓友会書道展

令和4年11月4日(金)～11月6日(日)
花火伝統文化継承資料館「はなび・アム」

第21回日本書学研究会 秋田一先会かな書展

令和4年11月26日(土)～11月28日(月)
アトリオン第一展示室

第10回書遊会展

令和5年3月10日(金)～3月13日(月)
五城目町「五城館」

総務部・IT部に届いている展覧会を掲載しております。ご了承願います。

情報社会に育つ

株式会社 塚田美術印刷

本社工場 / 〒010-0921 秋田市大町一丁目6番6号

TEL 018(823)5551(代)

FAX 018(823)5553

URL : <http://www.akita21.com/tsukada/>
E-mail : tsukabi@cna.ne.jp

美術表装一式

掛軸、和額、屏風、襖

中山表具店

〒011-0917 秋田市飯島道東二丁目4番10号

TEL 018(846)8496